



西伯小だより

SINCE 1967
令和7年10月2日
NO.489

南部町立西伯小学校
〒683-0351
南部町法勝寺 336 番地
☎0859-66-2215

■学校教育目標：ふるさとに誇りをもち、夢や目標に向かって、仲間とともにたくましく生きる児童の育成

実りの秋 充実の秋

校長 安達 嘉也

10月に入り、日差しは柔らかく、風は心地よい季節となりました。学校周辺の木々も少しずつ色づき始め、子どもたちの元気な声が響きます。この「実りの秋」、「充実の秋」を、子どもたちは五感で感じているようです。

「秋は夕暮れ。夕日のさして、山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさえあはれなり・・・」

清少納言の「枕草子」にあるように、夕暮れの空に響く鳥の声や風景、虫の声など全てが美しく心に染み入る季節です。

昨日は、法勝寺地域振興協議会の皆様をはじめ、地域の方にお世話になりながら、5年生が稲刈りを行いました。手にした稲にはたくさんのお米が実っていました。心地よい汗をかき、一生懸命に刈る姿から、秋の豊かな実りとこの地域のすばらしさを実感しているようでした。こうした瞬間にこそ、子どもたちの心が育まれる大切な時間だと感じます。

さて、今月31日（金）には、芸術の秋発表会を行います。発表会は、一人ひとりが主役になれる舞台です。自分の役割を果たすだけでなく、友だちと協力し、ひとつの目標に向かって努力する過程は、子どもたちを大きく成長させます。私ごとではありますが、小学校6年生で宮沢賢治の「よだかの星」を発表しました。放課後遅くまで練習したこと、発表会当日の光景を今でも思い出します。子どもたちにとっていつまでも思い出に残る大きな行事のひとつではないでしょうか。

昨年度までは、発表ごとに保護者の皆様には入場の入れ替えをお願いしていました。昨年度の反省をもとに、今年度は体育館前方に当該学年保護者の優先席を十分に設け、発表ごとに体育館内にて優先席移動を行います。天候によっては寒い中、体育館外でお待ちいただく必要はありません。また、他の学年の子どもたちのがんばりを見ていただくことにもつながります。詳しくは案内文書に記載いたしますが、趣旨をご理解いただき、ステージで一生懸命演技をしたり、演奏したりする子どもたちへの応援を何卒よろしくお願いします。

今年度の本校のテーマは、「西伯小学校 一歩前へ！」です。今年度の芸術の秋発表会が一歩前に進む行事となるよう、子ども達、教職員一同、力を合わせて取り組みます。

■初の校内ウォークラリー

みんなが楽しみにしていた「ふるさと学びウォーク」は、朝からの雨のため、校内ウォークラリーに変更となりました。残念がっている子もいましたが、気持ちを切り替え、なかよし班で校内を歩き、チェックポイントをまわりました。チェックポイントでは、オルガンの音を聴いてどの音かを当てる「音あてチャレンジ」、大きな容器に入った水を小さなお椀で3回すくって、500mlになるようにする「量感チャレンジ」や「学年クイズ」などに、チームのみんなで力を合わせて取り組みました。高学年として、班のみんなに気を配りながら歩く6年生や5年生の姿がどの班でも見られました。チェックポイントになっている教室に入るときに元気よくあいさつをしたり、一列に並んで決まりよく歩いたりするなど、すてきな子どもたちの姿がたくさん見られた一日でした。

地域に出かけられなかったことは残念でしたが、初めての校内ウォークラリーをしっかりと楽しむことができたと思います。

この日は、たくさんの地域の方、保護者の方に子どもたちの安全を見守っていただく予定になっておりました。急な変更にもご理解をいただきありがとうございました。



■実りの秋!稲刈りをしました。

さわやかな秋晴れの下、5年生が稲刈りを行いました。

法勝寺地域振興協議会の皆様をはじめとして地域の方々にていねいに教えていただいたり、手助けをしていただいたりしながら、手際よく稲を刈ることができました。鎌で稲を刈り取る際に、思った以上に力があることにびっくりしながら一生懸命に刈っている姿、慣れた手つきで黙々と作業をしている姿など、教室とはまた違う一面を見ることもできたように思います。「家での稲刈りは機械でしているよ。」「でもすみっこのほうは手で刈るよ。」などと話す姿もありました。

この日は、5年生の子どもたちの手で一部を刈りました。残りは、地域の方々にお世話になり、機械で刈っていただきます。そして、収穫したお米は、給食に登場します。また、5年生が家庭科の学習で調理をする予定にしています。

お世話になりました地域の皆様、本当にありがとうございました。

